

SANEI

2024年3月期第2四半期 決算説明資料

VERSE

SANEI 2023

2023年11月7日

SANEI 株式会社

証券コード：6230

(東京証券取引所 スタンダード市場)

第2四半期も増収増益を達成（対前年同期比）
計画（業績予想）に対しては、売上が未達も利益は好調

売上高

13,170 百万円

営業利益

743 百万円

親会社株主に帰属する
四半期純利益

485 百万円

前期比較

増収

+ 536 百万円 (+ 4.2%)

- 販売価格改定の浸透
- 従来の販売ルートも好調

大幅な増益・収益性改善

+ 639 百万円 (+ 614.6%) + 518 百万円 (-%)

- 前期に実施した販売価格改定の効果もあり、収益性が改善

計画比較

やや下回る

△ 429 百万円 (△ 3.2%)

大きく上回る

+ 193 百万円 (+ 35.1%) + 105 百万円 (+ 27.9%)

- 販売価格改定・商品ミックスの変化、経費を中心とした費用抑制の効果が計画を上回る。

2 損益の概要

- 売上高は販売価格改定の浸透、既存販売ルートの上拡大の両面により増収。
- 売上総利益率は販売価格改定の浸透により、**前期28.0%⇒当期31.1%**へ改善。一方で、売上高販売管理費比率は**前期27.2%⇒当期25.4%**に抑制できたため、営業利益率は**前期0.8%⇒当期5.6%**となり収益性が改善。

	2023年3月期		2024年3月期		(単位：百万円)	
	2Q累計	売上高比率	2Q累計	売上高比率	前年増減	前年増減率
売上高	12,633	100.0%	13,170	100.0%	+536	+4.2%
売上総利益	3,536	28.0%	4,093	31.1%	+556	+115.7%
営業利益	103	0.8%	743	5.6%	+639	+614.6%
経常利益	89	0.7%	739	5.6%	+650	+728.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△32	-%	485	3.7%	+518	-%
1株当たり四半期純利益	△13円99銭		212円32銭			



cye

3 四半期業績の推移

- 売上高の通期業績予想に対する**進捗率は47.0%**となり、前年をやや下回った。
- 利益面では、通期業績予想に対する**進捗率はいずれも50%超**となり、安定した利益を確保。

(単位：百万円)

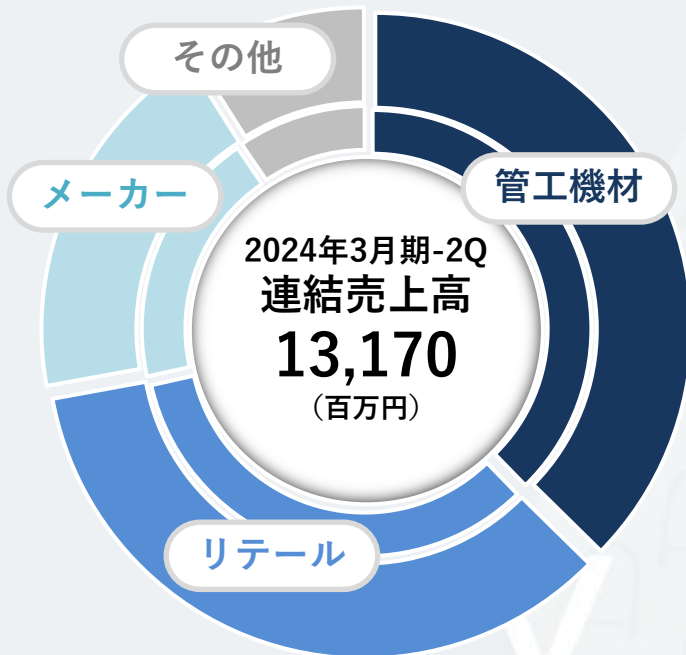


YORI
SUTTO

前期 2023年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
売上高	6,423	6,210	6,855	7,075	26,564
年間売上構成比	24.2%	23.4%	25.8%	26.6%	100%
累計	6,423	12,633	19,489	26,564	
累計進捗率	24.2%	47.6%	73.4%	100.0%	
営業利益	97	6	361	440	906
年間営業利益構成比	10.8%	0.7%	39.9%	48.6%	100%
累計	97	103	465	906	
累計進捗率	10.8%	11.5%	51.4%	100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	35	-67	325	336	630
年間純利益構成比	5.7%	-10.8%	51.6%	53.5%	100%
累計	35	-32	293	630	
累計進捗率	5.7%	-5.1%	46.5%	100.0%	

当期 2024年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q (業績予想)	通期 (業績予想)
売上高	6,811	6,358			28,000
年間売上構成比	24.3%	22.7%			100%
累計	6,811	13,170		28,000	
累計進捗率	24.3%	47.0%		100.0%	
営業利益	296	446			1,350
年間営業利益構成比	21.9%	33.1%			100%
累計	296	743		1,350	
累計進捗率	21.9%	55.0%		100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	209	276			920
年間純利益構成比	22.8%	30.1%			100%
累計	209	485		920	
累計進捗率	22.8%	52.8%		100.0%	

4 販売ルート別の概況



販売ルート別 売上構成
(外円：当期／内円：前期)

	前期 増減	
管工機材	➡	販売価格改定を中心として売上が微増。 デザイン水栓シリーズの売上は堅調に推移。
リテール	↗	前期に引き続き、ウルトラファインバブル製 品を中心とした高機能製品やホームセンター 向けのPB商品などの販売が好調。
メーカー	➡	前期に引き続き住設メーカー向け標準採用品 を中心として売上が微増。

SANEI 2023

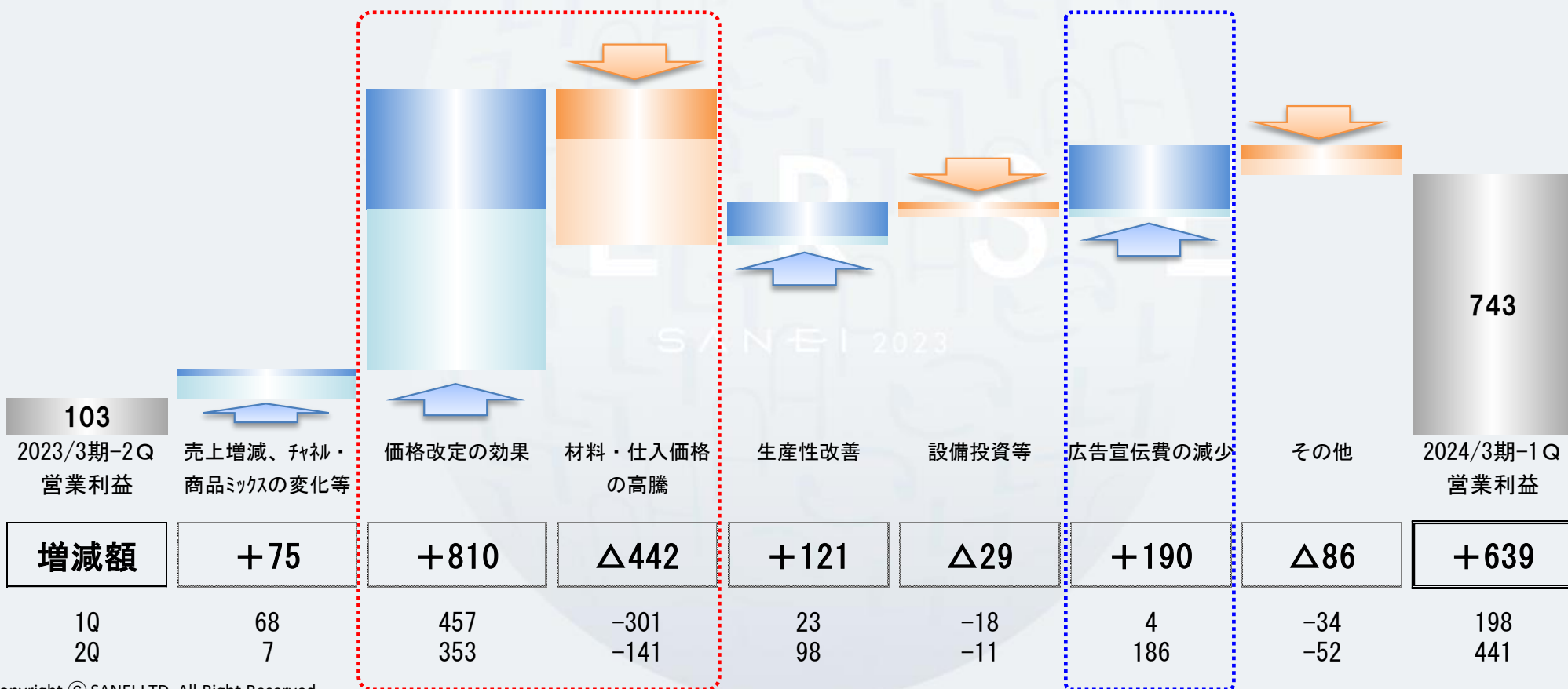


5 営業利益の増減要因

前年同四半期増減 + 639百万円の内訳

(単位：百万円)

- 前期は「**材料・仕入価格の高騰**」が先行し、「**価格改定の効果**」を上回っていたため、利益を大きく圧迫していた。当期は「**価格改定の効果**」が前期3Q以降より継続しており、前期比較では大きなプラス要因になっている。
- 前期2QはテレビCM放映による広告宣伝費があったため、当期は広告宣伝費が大幅に減少。



6 連結BS（資産・負債・純資産）

- 仕入の増加に連動して棚卸資産及び仕入債務が増加。
- 建物及び構築物の増加は岐阜工場の建て替えによるもの。

		2023年 3月末	2023年 9月末	前期末 増減	(単位：百万円) 主な要因
資 産	流動資産	15,757	16,624	+ 866	・ 棚卸資産 + 791
	固定資産	7,697	8,101	+ 404	・ 建物及び構築物 + 423
資 産	合 計	23,455	24,726	+1,270	
負 債	流動負債	8,263	9,140	+ 877	・ 仕入債務 + 611
	固定負債	2,695	2,629	△65	
負 債	合 計	10,959	11,770	+ 811	
純 資 産	合 計	12,495	12,955	+ 459	・ 当期純利益 + 491 ・ 剰余金の配当 △109
負 債 純 資 産	合 計	23,455	24,726	+1,270	



7 連結キャッシュフロー

SANEI

(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前期末 増減	主な要因
期首残高	2,186	2,247	+ 60	
営業 C F	475	917	+ 441	税金等調整前当期純利益 743 減価償却費 298 棚卸資産の増加 △782 仕入債務の増加 609
投資 C F	△266	△572	△306	有形固定資産の取得による支出 △552 主に岐阜工場の建替工事に関連する費用支払のため。
財務 C F	△224	△171	+ 52	借入金の純増減額 △ 60 配当金の支払額 △109
その他	10	6	△3	
期末残高	2,181	2,426	+ 245	



2024年3月期は年間98円の配当を予定
（前期より2円増・8年連続増配）

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	中間 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭		
2017年3月期	5.00	10.00	15.00		4.7%
2018年3月期	10.00	15.00	25.00		9.5%
2019年3月期	15.00	15.00	30.00		11.2%
2020年3月期	15.00	30.00	45.00	88百万円	14.0%
2021年3月期	30.00	45.00	75.00	161百万円	15.3%
2022年3月期	45.00	47.00	92.00	210百万円	21.1%
2023年3月期	48.00	48.00	96.00	219百万円	34.9%
2024年3月期 (期末は予想)	49.00	49.00	98.00	224百万円	24.4%

- ◆ 2020年1月2日付で株式1株につき10株の株式分割を行っております。当資料では2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
- ◆ 2021年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 30円00銭・東証二部市場上場記念配当15円00銭となっております。
- ◆ 2022年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 45円00銭・株式上場1周年の記念配当2円00銭となっております。

将来にわたり安定的な配当を実施することを基本方針とし、
今後も長期、継続的な増配をめざします。



売上高・収益性の向上（事業領域の拡大）

- 「上質をデザインする」 SANEIブランドの更なる向上
～意匠、仕上げ精度、使用感、すべてにおいて最上級に相応しいものづくりへの挑戦～
- 水まわりにおける住空間全体をトータルに提案できる事業展開
～当社製品と他業種との協業・コラボレーション等によるラインナップの充実～
- 宿泊施設・飲食店・介護医療・公共施設など非住宅市場におけるシェア拡大

企業価値
向上

継続的な株主価値の向上

- 安定的な配当と長期・継続的な増配を目指す
～2024年3月期は8年連続増配の予定～

PBR

=

PER
(株価収益率)

×

ROE
(自己資本利益率)

2023年9月期末時点の状況

0.61倍

8.0倍

2023年9月30日株価：3,200円

1株当たり当期純利益(予想)：401.92円

7.7%

当期純利益(予想)：920百万円

自己資本：11,967百万円

2023年3月期末時点の状況

0.55倍

10.1倍

5.4%

私たち SANEI は、ライフスタイルの変化、個性や価値観の多様化に対して、「新たな水まわり空間」の研究開発と提案に取り組み、人と水との出会いに心地よさと喜びを届けてまいります。

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			前年 増減	前年 増減率
	2Q 累計	年間	売上高 比率	2Q 累計	年間	売上高 比率		
売上高	12,633	26,564	100.0%	13,170	28,000	100.0%	+1,435	+5.4%
営業利益	103	906	3.4%	743	1,350	4.8%	+443	+48.9%
経常利益	89	906	3.4%	739	1,350	4.8%	+443	+49.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△32	630	2.4%	485	920	3.3%	+289	+45.9%
1株当たり当期純利益		275円39銭			401円92銭			

連結業績予想は、前回公表（2023年5月10日）から変更ありません。

それは、
未来への潮流。

ONE WITH NATURE

サスティナビリティ、便利さ・快適さ。それらは、必ずしもトレードオフの関係に對置されるものではありません。暮らしのインフラがさらに成熟すれば、密集する都市空間に縛られることなく、きれいな空気と広々とした大地のもと、今以上に豊かに生きることができるようです。これからの住環境のネクストコンセプトとして、SANEIは「自然と一つになって暮らせる住まい」を構想し、新たな水まわり空間の研究と開発、そして提案に取り組んでいます。



VERSE
2023

自らに課した「上質をデザインする」という命題。上質は、単なる高級とは異なります。本当の意味での「上質」の定義に対して、果たしてどこまでその極みに迫れるか。SANEIは、理想の中に思い描くラグジュアリーな概念を頂点として新たな製品体系を設定し、その秩序に基づく製品開発を進めています。水の音、流れる姿、手に依る感覚に至るまでどこまでも美しい体験を追い求め、意匠、仕上げ精度、使用感、すべてにおいて最上級に相応しいものづくりへの挑戦を続けています。



水は、朝・昼・夜、一日の中で必ず触れるもの。そして、生涯を通して触れ続けるもの。性別、世代、国籍、人種を超えて、私たちの手掛ける製品は、十人十色の「生きる」に寄り添い、そこに息づく喜びを見守り続けています。いつも、どの瞬間でも、地球上のどこかで私たちの製品が使われている—そんな日々をのぞき、SANEIは「人類ある限り水は必要である」の理念を実践しています。現代を生きるすべての人にとって、水と出会うほんのわずかなひとときが、明日への活力になると信じて。



静寂から湧き起こり、ゆるやかに泰然とハーモニーを加えながら、主旋律を刻み続けるボレロのようにブランドの理念はそのままだに、いま変化への機運をまといながら、新たな時代に向けて奏でる創造のヴァース
出会い 融合 変異 進化—— SANEIの次のステージはもう始まっている

MEISTER-SHIP



たとえばシャワーの「浴び感」一つとっても、水粒の形状や大きさといったあらゆる要素を分解し、「心地よさ」の理由を科学する。こうして目に見えない「心地よさ」、感覚の世界とされてきたエモーショナルな品質に対しても客観的な指標を取り入れ、SANEI独自のクラリティア（評価基準）として運用を始めています。さらにこの先、人によってそれぞれ感じ方が異なる心地よさまでも、センサーやAIといったテクノロジーを駆使して最適を追求していく。最後は人の手と感覚によって仕上げる熟練技能。そこに科学的探求を組み合わせることで、SANEIブランドの品質を自ら規定し、さらなる高みをめざしています。

[SANEI 2023 CONCEPT] 特設Webサイト
<https://www.sanei.ltd/library/2023concept/>

H₂O DESIGN

水をデザインする。

We design water.

SANEI

補足資料



社名	SANEI株式会社
事業内容	給水栓・給排水金具・継手および配管部材の製造・販売
創業	1954年（昭和29年）9月
代表者	代表取締役社長 西岡 利明
本社	大阪市東成区玉津1丁目12番29号
資本金	432百万円 ※2023年3月末時点
連結業績	売上高：26,564百万円 経常利益：906百万円 ※2023年3月期
従業員	連結：862名 単体：663名 ※2023年3月末時点
グループ会社	株式会社アクアエンジニアリング 大連三栄水栓有限公司 株式会社水生活製作所 美山鑄造株式会社

ALWAYS WITH JOY

きょう、あした、
人のそばに。喜びのそばに。

朝起きて、顔を洗う。

汗を流して、疲れを癒やす。

めざめて、活動をして、眠りにつくまで、

私たちの商品に触れるところから一日が始まり、

触れることでまた一日の終わりを迎える。

そんな日々が、きょうも、あしたも、続いていく。

私たちにとって、その人の一日に寄り添うことは

その人の人生そのものに寄り添うことでもあります。

ALWAYS WITH JOY.

いつもあなたの喜びのそばに。

そんな願いを込めて

SANEIはすべての商品をお届けしています。

「点」展開の時代

「水道/線」展開の時代

「水域/面」展開の時代へ

* 水栓単体の「点」の販売

* 水道メーター以降、蛇口までの水道インフラ全体をカバーするモノづくりを推進

* キッチンルーム+バスルーム+洗面ルームなどをすべてカバーする「面」対応のビジネスへ

1954
(創業)

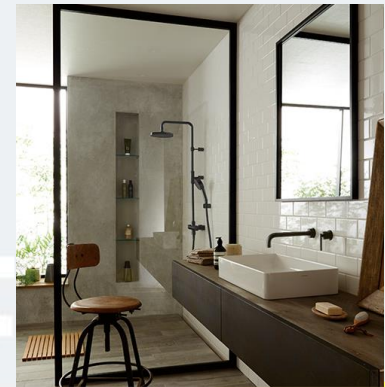
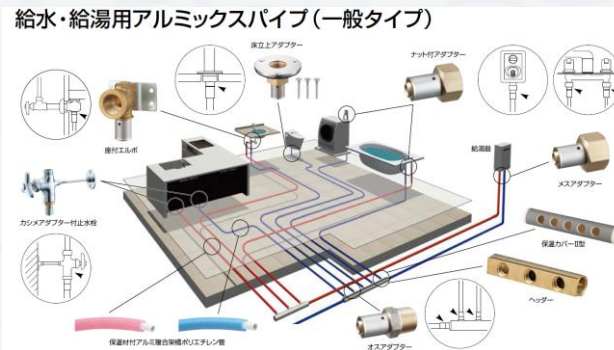
1980

2018~

▶ 「自社ブランドによる水栓金具メーカー」

▶ 「水栓メーカーとして確固たる地位の確立」

▶ 「水まわりにおける住空間全体をトータルに提案できるメーカー」



「toccata」が日本インダストリアルデザイナー協会の「JIDAデザインミュージアムセレクションVol.19」において2017年度の選定商品となる



シングルレバー湯水混合栓

1975



サーモスタット式湯水混合栓

1983



業界初の洗濯機用水栓

1989

雨水・中水活用システムが大阪府より「ゴールド・エコテック」の称号を授与される

2000

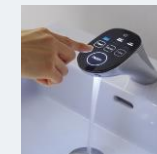
業界初の水道用コンセント「シンプレット」



2011

2018

サーモワンホール洗面混合栓(タッチ式)「toccata」



1954
創業

1967

日本初のシャワー付湯水混合水栓

デザイン水栓シリーズ



給水栓・給排水金具

シングル混合栓（センサー式） サーモシャワー混合栓



キッチン用



バスルーム用

シングルスプレー混合栓（センサー式）

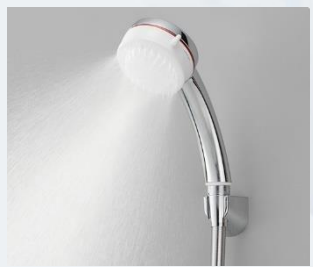


洗面所用

単水栓・止水栓



シャワー用品

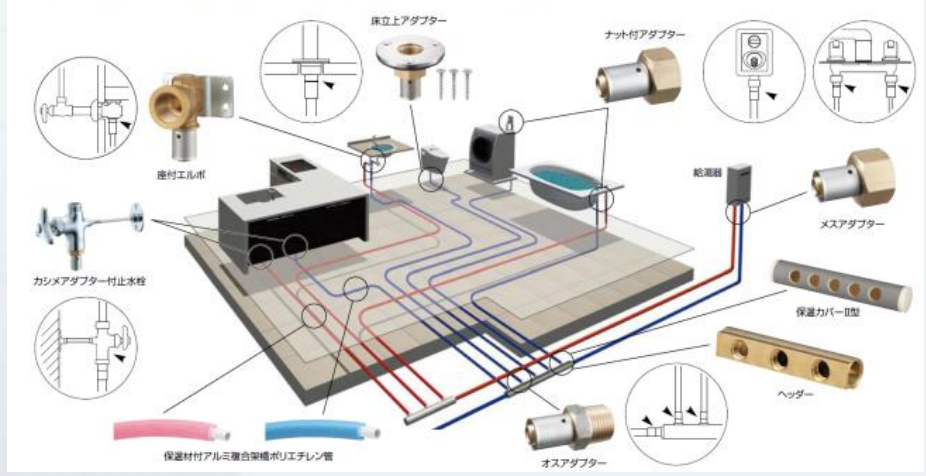


トイレ用品



継手および配管部材

給水・給湯用アルミックスパイプ（一般タイプ）





SANEI DESIGN COLLECTION

SANEI

DESIGNER COLLABORATION

国内外で活躍するデザイナー達とのコラボレーションから生まれた、不朽のマスターピース。



Designed by
nendo



佐藤オオキを中心に設立されたデザインオフィス。東京とミラノに拠点をもち、建築、インテリア、プロダクト、グラフィックと幅広くデザインを手掛ける。

<https://www.nendo.jp>



Designed by
SUPPOSE DESIGN
OFFICE



谷尻誠、吉田愛率いる建築設計事務所。幅広い分野のプロジェクを手掛けるながら、「社食堂」や広島本社の移転を機に商業施設の運営もスタートするなど事業の幅を広げている。

<https://suppose.jp>

WAILEA DESIGN

人と水のよりよい関係を現代空間の中で追求する、SANEI インハウスデザインによるラインナップ。



Designed by
WAILEA DESIGN

無限に変化する水のデザイン。
morfaは水栓を“なくす”という斬新な発想から生まれました。水栓や棚のデザインを統一し、パネルで構成されたボックスの中に一体化しました。



Designed by
WAILEA DESIGN

五感を満たす心地よさ。
ヨーロッパ調のシンプルで洗練されたデザインで、時間がゆっくりと流れるような、落ち着いた空間を演出します。



Designed by
喜多俊之
TOSHIYUKI KITA



デザイナー。プロダクト及び、空間など、分野を超え、数多くのデザインを手がける。作品の多くが MOMAを始め、世界のミュージアムに永久収蔵。

<https://www.toshiyukikita.com/jp>



Designed by
森田恭通
YASUMICHI MORITA



GLAMOROUS co., Ltd.代表。国内外へ活躍の場を広げ、インテリアに限らずグラフィックやプロダクトといった幅広い創作活動を行っている。

<http://glamorous.co.jp>



Designed by
WAILEA DESIGN

見ているだけで微笑んでしまう、思わず触れてみたくなるキュートなフォルム。常夏の自然に育まれた果実をモチーフにしたなんともユーモラスな表情が印象的です。



Designed by
WAILEA DESIGN

和と、輪と、環。一輪挿しのように演じた行まい。本物の竹を重ね合わせ、磨きこんで形にする。水の出口に曲げた銅板を使い、水の流れを目と耳で楽しむ。「いちりん」は和の伝統を受け継ぎながら唯一無二の存在。



Designed by
鈴木エドワード
EDWARD SUZUKI
1947-2019



建築家。公共施設から個人部、集合住宅まで幅広く手がけ、グッドデザイン賞、エコビルド賞など数々の賞を受賞している。

<https://edward.net>



Designed by
岩倉榮利
EIRI IWAKURA
1948-2019



家具ブランドROCKSTONEを創立。日本の伝統的な匠や現代の工業技術を暮らしの道具へと昇華。プロダクトデザイン、空間プロデュース、企業コンサルティング、人材教育までを手掛ける。

<https://rockstone.co.jp>



Designed by
WAILEA DESIGN

操作は軽くタッチするだけ
イタリア語のtoccare「ふれる」という語源そのままに、吐水、水量や湯・水の切り替えはタッチパネルに「ふれる」だけ。そのスマートな操作性と近未来的なデザインが、洗練された空間を創り出します。



Designed by
WAILEA DESIGN

KOKOEは手荷物を腕にかけたままでも使いやすいよう、六角形で構成されたカウンターセットです。ボウルとカウンターは抗菌仕様の人造大理石を採用しており、シームレスですっきりした印象に仕上げられています。

水まわり資材を扱う管材店向けの「管工機材」から、住宅設備「メーカー」、ホームセンターなどの「リテール」までバランスよく展開

	主な販売先	事業展開の方針
管工機材ルート	水まわり資材を取り扱う管材店	<ul style="list-style-type: none"> (1) ホテル、飲食店、病院、介護老人保健施設等の非住宅関連へのスペックイン (2) 住宅内の水まわり設備のトータル提案 (3) パワービルダー、ハウスメーカー、工務店等住宅関連へのアプローチ
リテールルート	量販店 ネット販売業者	<ul style="list-style-type: none"> (1) ホームセンター向け水まわり商材の企画、開発と販売体制の強化 (2) 家電量販店、総合スーパーなどへ水まわり商材や雑貨、リフォーム商材などの提案 (3) テレビ通販、インターネット販売業者への販路拡大
メーカールート	住設機器メーカー	<ul style="list-style-type: none"> (1) 優位性のある中高級グレードの商品投入 (2) バス、洗面、キッチンなど、住宅設備機器メーカーとの協業による水まわり空間の提案
海外ルート	海外市場	<ul style="list-style-type: none"> (1) 中国、台湾、インドネシア等のアジア諸国向けに中高級グレードの商品投入 (2) 海外各国の現地代理店との提携強化、新規開拓による販売

2支社・2支店を中心に19営業所・4出張所で、全国を網羅するネットワークを構築

【2支社・2支店・19営業所・4出張所体制】

- 三大都市圏と福岡に設置した2支社・2支店を中心に、管工機材ルート的主要顧客である管材店に対して、全国隈なく網羅的にサービスが提供できる営業ネットワークを構築
- リテールルートとメーカールート的主要顧客（=事業規模が大きい）については、支社支店が中心となって本部（主に大都市圏に設置）にて対応

連結子会社

- (株)アクアエンジニアリング
- 大連三栄水栓有限公司（中国）
- (株)水生活製作所
- 美山鑄造(株)



営業所：19拠点

- ⑤札幌営業所
- ⑥盛岡営業所
- ⑦仙台営業所
- ⑧郡山営業所
- ⑨つくば営業所
- ⑩東京西営業所
- ⑪さいたま営業所
- ⑫千葉営業所
- ⑬横浜営業所
- ⑭新潟営業所
- ⑮金沢営業所
- ⑯静岡営業所
- ⑰京都営業所
- ⑱神戸営業所
- ⑲広島営業所
- ⑳松山営業所
- ㉑熊本営業所
- ㉒鹿児島営業所
- ㉓沖縄営業所

出張所：4拠点

- ⑳宇都宮出張所
- ㉑高崎出張所
- ㉒長野出張所
- ㉓北九州出張所

ショールーム ● 実物を見て、触れて、使い勝手をお確かめいただくための拠点
の位置づけ ● 「SANEI」ブランドの高い品質やブランド価値を伝えていく拠点



大阪ショールーム
SANEI大阪支社 内



東京ショールーム
SANEI東京支社 内



福岡ショールーム
SANEI福岡支店 内



御堂筋ショールーム (WAILEA)

2023年5月オープン



名古屋ショールーム



青山ショールーム (FLUSSO)
<https://www.flusso.design/>



表参道ショールーム (WAILEA)
<https://www.wailea-club.com/>



SANEIは、1954年の創業以来

「人類ある限り水は必要である」を理念とし、
地球に生きる一員としての自覚を持ち、
企業活動に取り組んできました。

安全で快適な暮らしを提案

持続可能な社会において、水は生活の基本であり、QOL (Quality of Life)の要ともいえます。健康・安心を求める人々のニーズに応え、すべての人が容易にアクセスでき、快適な暮らしを享受できる製品の提案に取り組んでいます。



非接触で清潔
音声操作で清潔・快適
部屋に菌を持ち込まない

地球や環境に優しいモノづくり

モノづくりに伴う環境負荷を最小化すること。そして生活の中での水利用における環境配慮。さらには洪水や地震など災害時におけるレジリエントなシステムの提案。自然と生活に関わる企業としてその使命を果たします。



環境配慮型バルブ認定
天然素材を利用した水性

働くよろこびとお客様や地域とのつながり

人とのつながりは企業のかけがえない資産です。誰もが働きやすい環境と活躍できる機会を確保するとともに、お客様や地域とのパートナーシップを強化して社会に信頼される企業を目指しています。



若手建築家への支援協賛
地域清掃活動

DISCOVER
in Water

人もまた、循環の一部である

人類が豊かさを追い求めてきた結果、自然は破壊され、地球が悲鳴を上げている…環境問題が深刻さを増してきた20世紀の終わり頃からそうしたベシミスティックな世界観が世の中を覆いました。けれど人の文明は、暮らしとは、本当に地球にとって害悪でしかないのでしょうか。数々の“不都合な真実”を見る限り、人の活動が自然環境にネガティブな影響を与えている側面はもちろん否定できないでしょう。しかし人類を「自然と競合する存在」とみなすこと自体、見方によっては人間の傲慢とはいええないでしょうか。悲鳴を上げているのは地球というより、人間ではなかったでしょうか。

思えば人の営みもまた自然の摂理の中にあり、私たちの社会も含めて地球上の大きな循環=みずみちの一部を為しています。そしてかつての水田や里山がそうであるように、人が手を加えた自然は長い歳月をかけて環境を豊かにし、生物の多様性を育むことさえてきました。相互の調和—その関係性に逆らうことなく、地球と一体となって生きること。それが、これから目指していくべき持続可能な社会への一つの答えなのかもしれません。



水の循環にかかわる存在として、

いつまでも人々の生活の憩いと潤いが続くように。

Think Life. Make Act.

美しいこの惑星（ほし）の未来のために、

今日私たちにできることを。

私たちの挑戦は始まっています。

A L W A Y S W I T H J O Y

S A N E I

本資料に関するお問合せやIRミーティングのご依頼

- ▽ 当社ホームページ <https://www.sanei.ltd/>
- ▽ メール ir-sanei@sanei.ltd
- ▽ お電話 06-6972-5955

担当：SANEI株式会社IR課

SANEI株式会社
<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。